

令和 2 年度進路実績

令和 2 年度 3 年生 進路合格者数・決定者数

合格者数

令和 3 年 1 月 20 日現在

	国立大	公立大	私立大	公立短大	私立短大	専門学校	進学計	就職	公務員	合計
指定推薦			24	1	0	15	40			40
公募推薦	0	3	9	0	11	28	51	25		76
A O	0	0	0	0	0	0	0			0
一般	0	0	2	0	0	10	12	0	0	12
共通テキスト利用			0	0	0	0	0			0
合計	0	3	35	1	11	53	103	25	0	128

「令和 2 年度進路状況」

進路指導主事 伊藤 悟

令和 2 年度の進路指導は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた 1 年であった。その中において就職は日程延期、各種説明会等の中止など大きな変化があったが、昨年度と比べ 1 割弱減少しただけの求人を頂くことができたことと、生徒たちの努力で今年度も就職率 1 0 0 % を達成した。

進学も、大学入試制度の変更、試験形態の急遽変更、オープンキャンパス・説明会の中止などの困難を乗り越えて、多くの生徒が進路実現を果たした。

これから一般入試を受験する生徒たちの健闘を祈るとともに、全校体制で受験指導にあたって頂いた先生方にお礼を申し上げます。

ウィンター スポーツ

スケート部の活動

スキー山岳部の活動

「成長、充実」

スキー山岳部 3 年 横内 亮太郎
3 年間の部活動を通して何より感じたことは、毎年毎年、年を経るにつれて、スキーや山岳の競技に対する意欲が高まっていたことだ。みな入部当初は顧問の指示に従い渋々、嫌々活動している部員が多く、自分もその一人であった。しかし日々成長していく中で、スキー、山岳が、「楽しくて好き」という領域に到達した。これは受動的から能動的な活動へと変わり、この動きをきっかけに競技パフォーマンスにも良い影響が現れたと思う。僕は高校入学までは一人で活動してきたから、このように同じ意思を持つ仲間と活動できて本当に良かった。

「仲間」

スケート部 3 年 石川 愛実
私は高校卒業を機に 12 年間続けてきたスケート競技に終止符を打つ。その中でも、北杜高校スケート部という伝統ある部活動の一員として活動できた事を誇りに感じている。それは、今シーズンのぎふ国体、長野インターハイのリレーで共に 8 位入賞することができたこともあるが、それ以上に、素晴らしい仲間、先生と出会うことで互いを高め合うことができたからである。
この仲間は厳しい練習を乗り越え、喜びを共有した大切な宝物である。

〒408-0023 山梨県北杜市長坂町渋沢1007-19

TEL 0551-20-4025 FAX 0551-32-3194 URL <http://www.hokutoh.kai.ed.jp>

News and Magazine of HOKUTO High School

令和 3 年 3 月 1 日 発行
Vol.55

杜をわたる風

よひにそ北の杜へ

ここは夢が育つ場所

「杜をわたる風」

教頭 米山 正仁

「森」は、「木」を 3 つ組み合わせた漢字で、樹木が生い茂っている場所を表しているといわれています。それでは、「杜」は、どうでしょう。少し調べると、「杜」は、本来「ヤマナシ」という植物を表し、「もり」という意味はありませんでしたが、植物を表す漢字であることと「社（やしろ）」という漢字に似ているので、神社の周りに広がる樹木が生えている場所を「杜（もり）」と表すようになったとあります。

山などに自然に生えている樹木や草花だけでは「森」で、そこに暮らす人々が協力し合い、長い年月をかけて育ててきた豊かな緑を表すのが「杜（もり）」であり、森と杜を区別するとの解釈もあります。

北杜高校は、先人が育んできた豊かな杜の中で、学べる環境だと思っています。この環境をいかし、地域と学校が相互にパートナーとなって、生徒への追い風を送れるように取り組んでいきたいと思っています。





「未知の領域へ」

福祉ライフデザイン系列 3年 鎌田 愛梨

私は、福祉ライフデザイン系列で2年間、検定取得に力を入れ取り組んだ。特に「介護職員初任者研修修了」と「食物調理技術検定1級取得」に向けて頑張った。介護を学ぶ授業では、コロナウイルスのため今年度の対人援助実習は全て人形を相手に行い、苦労した点多かった。介護手順書を作成しながら、どうしたらより良い介護を提供できるか、多くの時間をかけ考えた。

食物調理技術検定は、自分の考案した献立を時間内に作る試験だ。上手いかず自分に腹が立ち逃げたくなる時もあったが、この検定を通して栄養面の偏りがないか考えたり、技術を磨く自分を成長させたりすることができた。

卒業後の生活にも活かしていけるようにしたい。



「自分の成長」

総合情報ビジネス系列 3年 矢嶋 里音

私は、将来の夢を叶える一歩として、北杜高校に入学しました。

私は、将来ジュエリーデザイナーを目指しています。デザイナーは、自分の作品をアピールするために、人との会話も重要になる仕事だと思います。しかし私は、初対面の人との会話が苦手でした。その短所を直そうと思い、2年生の時に系列での販売実習に参加しました。販売実習では、商品の説明や呼び込みがうまくできず、先輩方に頼りがちになってしまいましたが、この時の接客などの体験を通し今では人との会話も進んでできるようになったと感じています。

系列での授業・検定・商品開発などの経験は、苦手なことも積極的に行っていくことで、自分の成長につながることを教えてくれました。卒業後も夢に向かって頑張っていきたいと思っています。



「系列で築けた関係と得た思い出」

環境工学系列 3年 中嶋 風暁

私は総合学科の中の環境工学系列に所属してきました。系列で共に活動していく仲間たちとは授業や実習、校外学習などを通して良好な関係を築けてきたと思っています。この系列に所属し、先生方の授業のおかげで多くの資格を取ることができました。

また、学校林やインターンシップでは業界の方々に協力していただき、様々な体験をすることができました。新型コロナウイルスの影響で多くのことができない時期はありましたが、系列での毎日の思い出はとても良いものです。

就職先でもこの思い出を忘れることなく、頑張っていきます。在校生はこれからも系列でしか得られない貴重な体験や思い出を大切にして、卒業するまで元気で頑張っていきたいと心から願っています。



「お花とともに」

生物資源系列 3年 辻 葉月

私は2年間生物資源系列で農業を学びました。系列の先生方や仲間とは気が合い、何でも相談することができて、本当に毎日が楽しかったです。

私の専攻は草花で、花の栽培を行い、その花で寄せ植え作り、花壇の植花、ブーケなどをデザインするなどの学習をしました。花を扱っていると、みんな自然に笑顔になっていくのがとても好きでした。笑うと心に余裕ができます。そして私は将来、自然と共に生きて、みんなを笑顔にしていきたいと思うようになりました。私は卒業後、専門学校に進学し、花のデザインに関するキャリアを積みます。

これからの将来、誰もが予想しないような世の中になるかもしれませんが、前を向き周りの人々を笑顔にしていきたいと思っています。

卒業生の の思い出



「感謝」

普通科 3年 近藤 秀祐

3年前の不安と希望でいっぱいだった高校生活も一ヶ月を切りました。私はこの3年間でギター部での活動、北嶺祭、修学旅行、高校生議会など授業以外でも様々なことに取り組んできました。困難に陥ってしまうことがたくさんありましたが、その都度友達や家族、先生方に支えられながら協力して乗り越えてきました。そして私自身精神的にも学力的にも成長することができました。卒業後は北杜高校で学んだこと、経験したことを糧に大学で経営について学び、将来の夢に少しでも近づきたいです。指導してくださった先生方、三年間共に過ごしてきた友達、18年間私を育ててくれた家族にこれからの人生で恩返しをしていきたいです。ありがとうございます。



「『当たり前』、だからこそ・・・」

普通科 3年 保坂 優衣

私が高校3年間で一番力を入れたのは学業です。勉強は基本的なことですが、だからこそしっかりやろうという気持ちで取り組みました。分からないところがあたら先生や友達に聞いて苦手を克服し、定期テストで目標を達成することができました。また、得意な英語では英検2級の取得を目指し、合格することができました。

私は高校生活を通して、努力すれば目標を達成できることを、身をもって知ることができました。一人では心が折れそうになった時もありましたが、教えてくださる先生方や友達存在が大きかったです。たくさんのことを教えていただきありがとうございました。3年間で学んだことを活かし、夢を叶えるため頑張ります！！



「たった一度の高校生活」

普通科理数コース 3年 葛窪 悠也

3年間、人生のほんの一部分であり、たった一度しかない高校生活が今、終わりを迎えようとしています。身も心も少しずつ大人へと成長していく中、この高校生活では多くの仲間、試練、思い出と出会いました。私は吹奏楽部に入り、大好きな音楽を続けつつ、理数コース生として学業にも励んできました。中学より部活の練習時間、学習量が大幅に増加し、大変ではありましたが、3年間無事乗り切ることができました。

4月から私は音大生になります。それは、私を支えてくれた両親や先生方、仲間たちが居てくれたからであると思います。これからも、私は将来に向けて一歩ずつ進んでいきます。3年間、本当にありがとうございました。